

「貫志」～最後の最後まで～

宇佐高 進路だより

No. 6 平成30年 10月4日 発行元：宇佐高等学校進路指導班



テストや模試は宝の山？

☆ 2学期中間考査が終わりました。結果はどうだったでしょうか？皆さんにお願いしたいことがあります。テストや模試は結果に一喜一憂するのはやめましょう。(勿論結果が良かったときに喜ぶのは悪いことではありませんが……) テストや模試の結果は自分の学習に足りないところを教えてくれるものだという風に考えてください。つまりテスト後が特に大切になるということです。足りなかったところをしっかりと補う作業が必要になってきます。それをしっかりとやって、今回の失敗などを活かしながら次に向けての準備ができる人は、今後必ず成績が伸びていきます！

推薦やAO入試について知っておいて欲しいこと

☆ 1, 2年生の中にはAO入試って何？と思う人がいるかもしれませんが、是非1度調べてみてください！

現在、3年生達の中には推薦やAO入試を受験している最中の人もありますし、これから受けようとする人もいます。ピークは11月になるでしょう。実は、1, 2年生には学年PTAの時に少しだけ話をしました。ここでもう1度確認しておきたいことがあります。推薦やAO入試などの受験に関しては、それも入試の1つであり、その受験を否定するわけではありませんが、1, 2年生の頃からそれだけを考えて準備を進めるのはやめてください。進学するのであれば、あくまでも一般入試を念頭に置き、学習して欲しいということです。3年生になり、自分の進路希望を考えたとき、チャンスがあるのなら受けるというスタンスでいてください。言うまでもありませんが、推薦やAO入試受験にはメリットとデメリットがあります。メリットとしては、受験機会が1回増えるということです。デメリットとしては、面接や小論文などの練習をしながら通常の学習も並行して行っていくという負担感や不合格になったときの精神的ダメージなどが挙げられます。そういったことをよく考えて、どうするかは3年次に決めてください。

決して「推薦やAO入試を受けない方がよい」と言っているわけではありません。勘違いしないようにしてください。この時1つだけ注意して欲しいことがあります。推薦やAO入試は大抵の所が合格発表は早いため、合格した場合、そこから入学するまでの期間は長くなります。この期間の過ごし方によって、入学以降の様々なことが影響を受けるということです。ですから、まとめると次のようになります。

『3年次になって、推薦やAO入試を受ける人は、上に挙げたデメリットの部分をも十分自覚した上で、合格後は更に目的意識を高く持って継続した学習ができる人に限られる。』
1, 2年生はこのことをしっかり頭に入れておいてください！3年生には今までに何

度か話をしているので大丈夫だと思いますが……

3年生になったら守って欲しいこと

☆ 3年生には以前話したことがあるとは思いますが、再度確認の意味で読んでください！この時期になると3年生の中に2つの状況が起こります。既に合格が内定した生徒とそうでない生徒がクラスの中に混在するという事です。この状況において最悪なケースは、合格が内定している生徒の気が緩み、合格が決まっていない生徒が合格内定の生徒を羨ましがる(ねたむ)パターンです。この状況になると様々な面で負の連鎖が起こってきます。絶対に避けなければなりません。そこでお願いします。

①合格が内定した生徒へ

周りにまだ合格が決まっていない友達がいるということを十分自覚し、今まで以上に学習に集中して頑張っていく。周りにいる友達のためというよりは自分自身が来年の春以降に会社や学校でスムーズにやっていくためという意識で頑張りたい。そうすれば、その後ろ姿が合格が決まっていない友達は見ているので、自然と良い循環が生まれるのです。

②合格が決まっていない生徒へ

「今」はまだ決まっていないだけの事です。焦る必要はありません。目標を見失わないようにしっかり前を向いて頑張りたい。周りを見れば自分と同じ状況の友達がいるはず。「受験は団体戦」と言われます。お互い励まし合い、助け合いながらその状況を乗り越えていって欲しい。合格発表は遅ければ遅いほど嬉しさは何倍にもなります。我々教員は最後の一人の進路が決定するまで、全力でサポートしていきます。最後まで一緒に頑張りましょう！

勉強って何？

☆ この宇佐高進路だよりNo. 3で「何のために勉強するのか」について書きました。今回は「勉強」の正体について私なりの考えを述べたいと思います。様々な言い方ができると思いますが、一言で言えば「つなぐ作業」だと考えます。皆さんは生活の中で、自分が知っている事と知らなかった事がどこかでつながったとき、『なるほど！』と思った経験はありませんか？これが勉強だといっても過言ではありません。そうです！自分が知っている事と知らなかった事をつないでいけばよいのです。

なぜEという現象が起こるのかを考える場面を想定してください。その場合、今自分が知っている事実Aからスタートして少しずつつないでいき、Eまでつなぐとなぜかを理解できるようになるでしょう！しかし、そのつなぎ方は通常複数あるはずで、この部分が勉強の奥深さを示しているのでしょう。このつないでいく作業は本来楽しいものであるはずで、皆さんは勉強というものを難しく考えすぎていると思いますか？難しく考えないで、今からどんどんつないでいってください！近いうちに勉強のプロになっているかもしれませんよ！！

※裏面は入試改革に関わる資料(河合塾提供)です。ご覧ください。

大学入学共通テストとは？

現行の大学入試センター試験は2019年度（2020年度入試）を最後に廃止され、代わって2020年度からスタートするのが「大学入学共通テスト」（以降、「共通テスト」）です。

- 実施年度：2020年度（2021年度入試）～
- 実施期日：1月中旬の土日2日間

● 出題教科・科目

教科	出題科目	記述式あり
国語	「国語」	記述式あり
地理	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」	
歴史	「地理A」「地理B」	
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	記述式あり
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」	記述式あり
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」	
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	

※文部科学省資料「大学入学共通テスト実施方針」より
上表のほか、専門学科に関する科目として「簿記・会計」「情報関係基礎」を出題

共通テストでは、「知識・技能」だけでなく、大学入学段階で求められる「思考力・判断力・表現力」も評価しようとしています。どのようなテストになるのか、具体的に見ていきましょう。

どこが変わる？～マークシート式問題の見直し

「知識・技能」も評価しつつ、「思考力・判断力・表現力」を一層重視した評価をするため、マークシート式問題が見直されます。

● 思考力・判断力・表現力を一層重視した作問へ

- ・複数の情報（文章・図・資料）を組み合わせて思考・判断させる問題
- ・言語活動や探究活動など、高校での学習場面を想定した設定の問題

● 出題形式も・・・

- ・当てはまる選択肢をすべて選択する問題
- ・解答が前問の解答と連動する問題
- ・解なしの選択肢を解答させる問題

2017年11月に実施された大学入学共通テスト試行調査（プレテスト）でも、作問や出題形式に工夫が見られました。

物理<第3問B 問4>

問4 表1から、この表中の金属について考察できることとして適切なものを、次の①～④のうちからすべて選べ。ただし、該当するものがない場合は⑤を選べ。

- | 選べ | 11 |
|----|---|
| ① | 金属1の温度を1Kだけ上昇させるのに必要なエネルギーは、原子量Aが小さいほど大きい。 |
| ② | 金属の温度を1Kだけ上昇させるのに必要なエネルギーは、金属原子の数が同じであれば、ほぼ等しい。 |
| ③ | 金属の温度を1Kだけ上昇させるのに必要なエネルギーは、金属の質量が同じであれば、ほぼ等しい。 |

正答率
12.5%

正解：1・2

当てはまる選択肢を全て選択（解なしの選択肢を含む）しなければならないため、単純な消去法で解答できない。

正解：1-4、2-2

解答は1パターンではない。どちらの「できごと」を選ぶかで、「理由」の選択肢が変わる。

日本史<第5問A 問3>

問3 明子さんと太郎さんは、なぜ「幕府が滅亡したのか」を考えた。その結果、成りまでの十数年間に、幕府が統治能力を失う重大なできごとがあり、それが幕府滅亡への重要なターニングポイントになったとの結論にいたった。明子さんは、年表中の(A)のできごとを画面上にとらえた。太郎さんは、年表中の(B)のできごとを画面上にとらえた。あなたは、どちらの考えを支持するか、支持するできごとと理由を正しく組み合わせよ。できごとは次の①～④のうちから、理由は下の①～④のうちから一つずつ選べ。

できごと 20

- ① 年表中の(A)のできごと ② 年表中の(B)のできごと

理由 21

- ① この事件の結果、統治機構が混乱し、幕府の市場統制力が弱まったから。
② この事件の結果、経済的な軍費を背景とした幕府支配が困難となったから。
③ この事件の結果、幕府は朝廷への報告を行い、諸大名にも広く意見を述べさせたため、外交を断断できなくなったから。
④ この事件の結果、一部の幕閣による専制政治を免れた幕府が、強権で反対派を抑えられなくなったから。

正答率
44.2%

※大学入試センター資料「大学入学共通テスト平成29年度試行調査（プレテスト）結果」より

どこが変わる？～英語4技能評価の導入

共通テストでは、「国語」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」において記述式問題が導入されます。

● 記述式問題の出題科目と概要

	国語	数学
出題範囲	「国語総合」（古文、漢文を除く）	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」のうち、「数学Ⅰ」
出題数	● 文字数80～120字程度を含め、問題数3問程度 ● マークシート式問題と記述式問題の大問を分けて出題	● 問題数3問程度 ● 大問の中にマークシート式問題と記述式問題を混在して出題
試験問題	マークシート式とあわせて100分程度	マークシート式とあわせて70分程度
評価すべき能力・問題類型等	● 多様な文章や図表などをとらえ、複数の情報を統合し構造化して考えをまとめたり、その過程や結果について相手が正確に理解できるように根拠に基づいて論述したりする思考力・判断力・表現力を評価。 ● 設問において一定の条件を設定し、それを踏まえ結論や結果に至るプロセス等を解答させる条件付記述式とする。特に「論理（情報と情報の関係性）の吟味・構築」「情報を編集して文章にまとめること」に関わる能力を重視。	● 図表やグラフなどを用いて考えたことを数式などで表したり、問題解決の方略などを正しく書き表したりする力などを評価。 ● 特に「数学を活用した問題解決に向けて構想・見通しをたてること」に関わる能力の評価を重視。

※文部科学省資料「大学入学共通テスト実施方針」より

現代文<第1問>

● 問題

青原高等学校では、部活動に関する事項は、生徒会部活動規約に則って、生徒会部活動委員会で話し合うことになっている。次に示すものは、その規約の一部である。それに続く【会話文】は、生徒会部活動委員会の執行部会で、翌週行われる生徒会部活動委員会に提出する議題について検討している様子の前半部分である。後に示す、執行部会で使用された【資料①】～【資料③】を踏まえて、各問い（問1～3）に答えよ。

問3 空欄 11 について、ここで森さんは何と述べたと考えられるか。次の(1)～(4)を満たすように書け。

- (1) 二文構成で、八十以上、百二十字以内で書くこと（句読点を含む）。なお、会話体にならなくてよい。
- (2) 一文目は「確かに」と書き出して、具体的な根拠を二点挙げて、部活動の終了時間の延長を提案することに対する基本的な立場を示すこと。
- (3) 二文目は「しかし」と書き出して、部活動の終了時間を延長するという提案がどのように判断される可能性があるか、具体的な根拠と併せて示すこと。
- (4) (2)・(3)について、それぞれの根拠はすべて【資料①】～【資料③】によること。

複数のテキストや図表を用いて出題され、小説や評論の読解といった従来の試験とは異なる実用的な文章が題材に。

解答の際に4つの条件を課す条件付き問題が出題。

※大学入試センター資料「大学入学共通テスト平成29年度試行調査（プレテスト）結果」より

どこが変わる？～英語の4技能評価を導入

英語は、「読む」「聞く」に加えて「話す」「書く」を含めた4技能をバランスよく評価するために、大学入試センターが認定した民間の資格・検定試験（参加試験）を活用します。制度の大幅な変更による影響を考慮し、共通テスト導入後4年間は、共通テストの「英語」試験も実施されます。

● 受験生は・・・

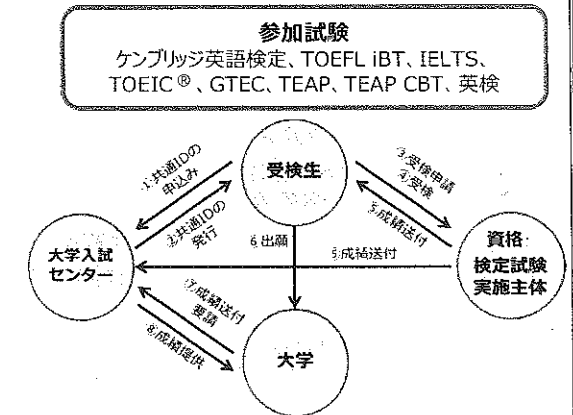
参加試験を高校3年の4月～12月に受験（予め大学入試センターから発行を受けた共通IDを使い、最大2回まで成績送付申請可）
※既卒生は、上記とあわせて前年度の試験結果を利用することができますが、前年度の成績の利用を認めるかどうかは大学の判断に委ねるとしています。

● 認定試験団体は・・・

申請のあった受験者の成績を大学入試センターに提供

● 各大学は・・・

英語の成績は、①②の両方またはいずれかを利用可
①参加試験（4技能）
②共通テストの「英語」（2技能）
※国立大では①②両方を全受験生に課す方針です。



※文部科学省資料「大学入学共通テスト実施方針」より

※大学入試センター資料、文部科学省資料より